

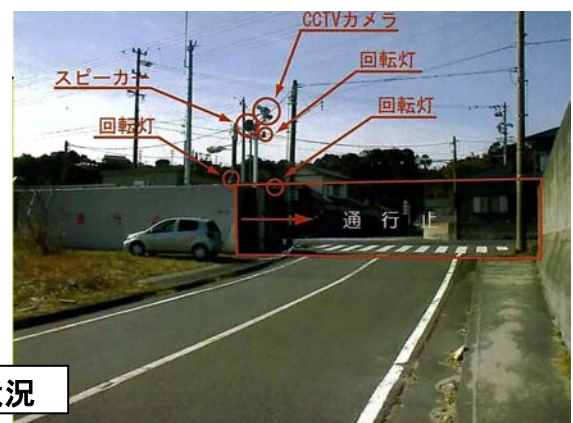
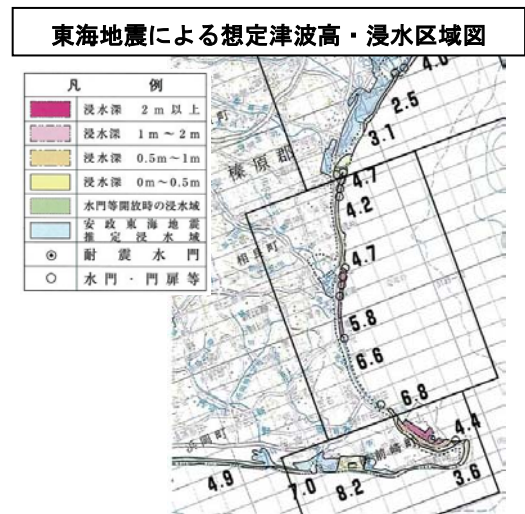
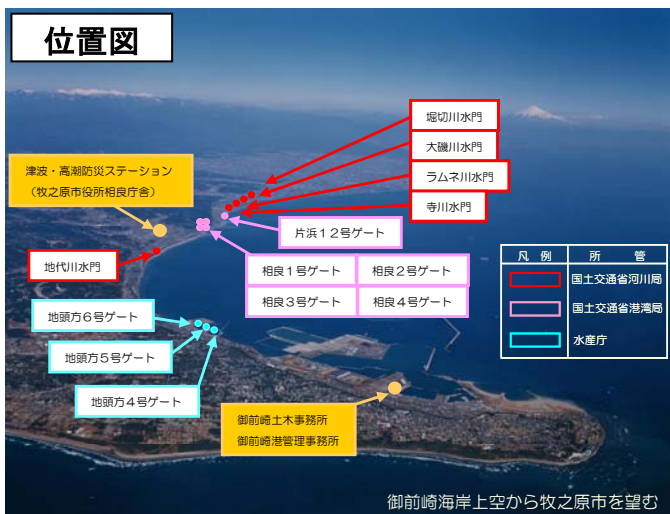
3. 事業効果の事例

○水門・陸閘の電動化・遠隔操作化により津波被害を防止【静岡県牧之原市】

水門・陸閘の電動化・遠隔操作化により、津波来襲前に閉鎖完了

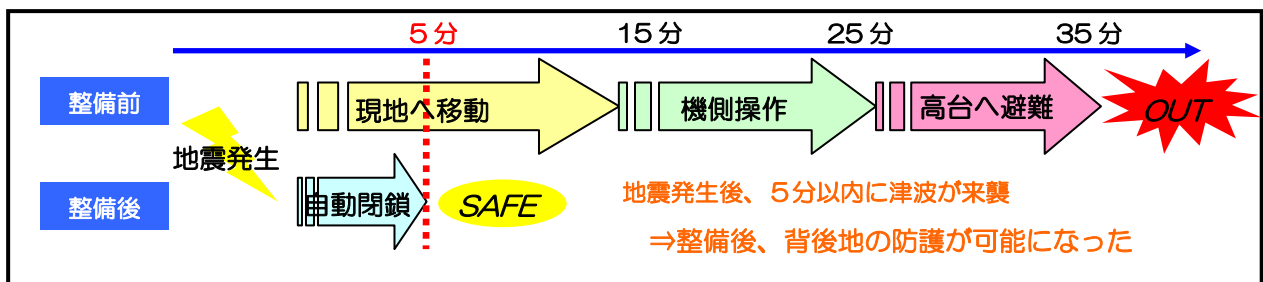
今後発生が予想される東海地震による津波や高潮による被害から背後地を防護するため、省庁が連携し、海岸に点在する水門や陸閘の電動化・遠隔操作化を実施するとともに、沿岸の監視及び施設の制御を一元的かつ効率的に行う「津波・高潮防災ステーション」の整備を実施した。

これにより、これまで施設の開閉操作は手動のため、地震発生後5分以内での到達が予想されている東海地震による津波被害を防ぐことが困難であったが、この整備により背後住民の人命及び財産を守ることが可能となった。



整備状況

水門・陸閘の閉鎖時間を短縮



電動化・遠隔操作化を行うことで、津波来襲前の開口部の閉塞が可能

○離岸堤、人工リーフの整備により河川供給土砂を補足し砂浜を回復
【新潟県新潟市】

離岸堤、人工リーフの整備が波浪を低減し、砂浜を回復

新潟県新潟海岸は、冬期風浪等の影響による侵食が著しかったが、侵食対策として離岸堤や人工リーフの整備により、波浪を低減し、河川からの供給土砂を的確に捕捉することで、砂浜が平均で約50m回復している。

整備着手直後の侵食状況



冬期風浪により船小屋基礎部まで砂浜が流失(有明浜工区)

整備後の砂浜回復状況

